



ほんよも No. 001



図書室より

入学・進級おめでとうございます!!

全校生徒のみなさん、入学・進級おめでとうございます。今年度から図書室の担当になりました、川口です。桂陽生のみなさんに本の面白さを伝えられるような、そして居心地のいい場所になるような、そんな図書室を目指します。どうぞよろしく。

図書室の開館時間は、

昼休みが12:50～13:15、放課後が15:30～16:30

です。現在、開館準備リニューアル作業中で、今年度のオープンは4月20日（月）を予定しています。もうしばらくお待ちください。

ちなみに、クラスから選出される図書委員の他に、図書室の運営を行う**図書局員を募集しています**。現在0名なので、入ってくると大いに助かります。希望者は川口のところまで来てください。また、**現在行っているリニューアル作業を手伝ってくれるボランティアも募集しています**。こちらも川口のところまで。

この「図書だより」では、図書室にある本の中から私がオススメするものを載せていきます。お楽しみに。（なお、図書局員が入ったら「図書館報」を作ってもらう予定です。）



今日は挨拶代わりに『**陽だまりの彼女**』という本を紹介します。
読んでみたいと思った人、図書室がオープンしたらぜひ借りに来てください。

ほっこり→号泣→ほっこの恋愛小説～ 『陽だまりの彼女』 越谷オサム

内容・あらすじ

主人公の浩介は、仕事で偶然、中学時代の幼なじみ・渡来真緒と再会する。ドジで成績も悪くていじめられっ子だった真緒は、モテ系の出来る大人の女性へと大変身を遂げていた。二人はやがて恋に落ち、親の反対を押し切って結婚し、幸せいっぱいのラブラブな生活を送る。

しかし、次第に真緒の様子がおかしくなっていく――。

川口先生の感想

奇跡のような偶然の再会から恋に落ち、幸せな生活を送るところまでは完全な恋愛小説です。二人の恋愛模様は実にほえましく、「こんな恋愛をしてみたいものだなあ…」などと思ってしまいます。うらやましい。

ところが、**半分を過ぎたあたりから、雲行きが怪しくなってきます**。真緒がこっそり貯金を全額下ろしたり、髪の毛がごそと抜けたり、「私の寿命、そろそろおしまいなの」など言ったり。浩介と一緒に「なんだ？ 真緒に何が起きているんだ？」と心配になり、ページをめくる手が早まります。

そしてある日、決定的な事態が……。後半で、なぜこういうことになったのか、という謎解きが衝撃の事実とともにどんどん明かされていきます。目をうるうるさせながら、「そうか、そういうことだったんだ」と納得しました。「**だから『陽だまりの彼女』なんだ！**」と、タイトルの意味にも気づきました。

最初の方を読み返すと、確かにいろんなところにヒントが散りばめられていました。注意深く読んでいれば気づいたかもしれませんが、二人の甘々な恋愛模様に気を取られていて気づきませんでした。私はハッピーエンドととらえましたが、意見が分かれるかもしれません。

こんな人にオススメ

恋愛小説を読みたい人・ペットを飼っている人・しばらく恋愛をしていない人、など。

なお、松本潤さん、上野樹里さん主演で映画化されています。原作を読んでから映画を見ることをお勧めします！！

